

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2017-05-01

No. 86



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所
<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー EXECUTIVE SUMMARY.....	2
IEC: 規格解説: CISPR 25 ED.4 車両等 - 車両搭載受信機の保護のための限度値等(2/2).....	3
IEC: 新規格リスト.....	7
ISO: 新規格リスト.....	10
国際テーマ: 2016 年の IECCE/CB スキーム統計: 96898 件の CB 試験証明書発行.....	11
国際テーマ: 2017 年度 IECCE-CTL 会議の協議事項.....	11
国際テーマ: 中国: 低出力 SRD 機器は、今後中国の無線機器認可は要求されない.....	12
国際テーマ: 台湾: 電気製品の ROHS 要求事項.....	12
国際テーマ: 電子製品への複数のインド言語.....	12
国際テーマ: インドの強制登録品目リストにさらに 16 種類の製品が追加.....	13
国際テーマ: イランでの販売: 国家規格機関 (INSO) 発行のライセンスが必要.....	13
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲.....	14
USA: FCC: KDB: PART 15: 意図的放射器と共に使用するアンテナの要求事項は?.....	15
USA: FCC: NVLAP 及び A2LA 承認範囲: 非 MRA 国試験所の認定を含むように拡大.....	17
USA: CPSC: 磁石セットの安全規格: 裁判所が無効にした最終規則の廃止.....	18
USA: CPSC: 子供向け以外または汎用製品に対する試験 (6/8).....	18
USA: EPA: エネルギースター: 初のスマートサーモスタット製品仕様を決定.....	20
USA: 医療機器: 市販前通知の免除クラス II 機器リスト: コメントの要請.....	21
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知.....	21
USA: ANSI/UL: 新規格リスト.....	22
USA: IEEE: 新規格リスト.....	23
カナダ: 官報通知 SMSE-007-17 — 妨害引き起こし機器規格 ICES-003, ISSUE 6 (修正 1) 発行.....	24
EU: 解説: 無線機器指令 2014/53/EU の整合規格リスト更新(2017/4/12).....	26
EU: 医療デバイスに関する新しい EU 規則: 患者の安全を高め、公衆衛生を近代化.....	26
EU: 委員会委任規制 2017/79: 112 番-ベースの ECALL 車両内システム: 2018/3/31 義務化.....	28
EU: より明確なエネルギー効率ラベル規則: A ~ G ラベルに.....	29
EU: WEEE: 電気・電子機器の重量、発生廃電気・電子機器の総量の計算方法.....	30
EU: CENELEC: 新規格リスト.....	31
EU: ETSI: 新規格リスト.....	32
中国: SAC: マイクロ波等通信機器の輻射安全要求を含む、396 項目の GB 規格を廃止.....	35
中国: CQC: 電気自動車ケーブルの制御および保護装置の認証規則のバージョン変更.....	35
中国: CQC: ポータブル電子製品用リチウムイオン電池等の安全認証規則.....	35
中国: 新規格リスト.....	36
台湾: 「電気・電子商品標示基準」を制定、発表から一年後に有効.....	36
台湾: 「冷蔵庫の許容エネルギー消費量関連ラベル表示、検査方式等」の改正案.....	38
台湾: 「検査を適用するモータなど 32 項目商品の関連検査規定」を改正、即日発効.....	38
台湾: 「検査を適用する電源装置など 7 項目商品の関連検査規定」を改正、即日発効.....	39
台湾: 新規格リスト.....	39
韓国: 電磁波強度測定基準告示の一部改正案行政予告.....	40
総務省: 先進的な無線システムに関する WG (第 4 回): 諸外国における規制等の動向.....	41
総務省: 高周波利用設備の型式指定及び型式確認の表示方法に電磁的表示が追加.....	41
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈 (整合規格の採用) 改正.....	42
経済産業省: 電気用品安全法の対象か否か過去の運用解釈事例を追加: 2017/3/23.....	42
経済産業省: 「製造輸入事業者向けガイド (第 3 版)」を掲載: 平成 29 年 3 月 13 日.....	43
経済産業省: 省エネ対象を LED ランプ、電球型蛍光灯以外にも拡大.....	43
国土交通省: 乗用車の排出ガス・燃費試験法 (WLTC モード法) を改正.....	44
医薬品医療機器総合機構 (PMDA): QMS 適合性調査関連考え方ガイダンス.....	44
ちょっといっぴく〜小クイズコーナー ~ 欧州無線機器指令の移行期間について.....	14
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内.....	25
社長の独り言.....	45



IEC: 規格解説: CISPR 25 Ed.4 車両等 - 車両搭載受信機の保護のための限度値等(2/2)

- 「CISPR 25:2016 Ed.4.0 車両、小型船舶及び内燃機関 - 無線妨害特性 - 搭載受信機の保護のための限度値及び測定方法」が、2016-10 付けで発行された。本第 4 版は、2008 年に発行された第 3 版を廃止し、それに代わるものである。主な内容を解説する。

USA: FCC: KDB: Part 15: 意図的放射器と共に使用するアンテナの要求事項は？

KDB (知識データベース)より

- パート 15 の意図的放射器と共に使用するアンテナの要求事項
- 連邦通信委員会工学技術室試験所部門が発行した「パート 15 の意図的放射器と共に使用するアンテナに関する基本的な機器認証ガイダンス」により、規定。従来、10 件を超える KDB 文書で取り扱われていた件がこの一本の KDB 文書で扱われる。

USA: EPA: エネルギースターは初めてのスマートサーモスタット製品仕様を決定

- エネルギースターは、「スマートサーモスタットが単純なエネルギー消費制限や温度設定をはるかに超える省エネの可能性を提供し、今回決定した製品基準が継続的な製品及びビジネスモデルの革新をサポートするもの」と、認識している。

カナダ: 官報通知 SMSE-007-17 - 妨害引き起こし機器規格 ICES-003, Issue 6 (修正 1)の発行

官報通知 SMSE-007-17 - ICES-003, Issue 6 (修正 1)の発行

- 全ての外部サーモスタット に対する規格への適合期限日を 2019/4/30 迄延期する

EU: 解説: 無線機器指令 2014/53/EU の整合規格リスト更新(2017/4/12)

無線機器指令 2014/53/EU の整合規格リスト更新(2017/4/12)

- EN 301 427 V2.1.1 等衛星地球局及びシステム (SES) 関連規格 13 件等、計 35 件規格が新規掲載

EU: 医療デバイスに関する新しい EU 規則: 患者の安全を高め、公衆衛生を近代化

- 欧州委員会は、公衆衛生と患者の安全の保護をより確保する、最新式でより強固な EU 法制枠組みを設立する医療デバイスに関する二件の規制に対するその提案の欧州議会による採択を、歓迎する。この二件の規制は、医療及びインビトロデバイスに対し数多くの改善をもたらす:
デバイスの 品質 安全 及び信頼性の改善、消費者への情報の透明性を強化、警戒及び市場監視を高度化

経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈 (整合規格の採用) 改正

- 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の一部 (整合規格の採用) が改正

社長の独り言

平成 29 年 4 月 25 日

濱口慶一

こちらでは桜の季節が終わり、新緑の季節に入りつつありますが、まだ何か肌寒い日が続いています。皆様はいかがお過ごしでしょうか？太陽の活動の影響ともいわれていますが、温暖化より氷河期の方に進んでいるとの考えもあるようで、地球全体でも住みにくくなってきたように思います。

今日は、東京電機大学出版局発行“世界市場を制覇する 国際標準化戦略”（原田節雄氏著）を先ずご紹介させていただきます。2008 年に初版、2010 年に改定版が発行されています。著者の原田氏はソニーに勤められ、IEC 委員会活動に参加されていた経験を有する方で、私は一度もお会いしたことはありませんが、製品安全の評価などに関わる中でこの本の存在を知り、買い求めました。製品安全規格の紹介というより、どのような過程で規格が作られていくのかが多様な方面からとらえられていて、私どもには非常に有益な一冊と言えます。製品規格の誕生の裏表や外国の機関の取り組みなどの戦略が説明されています。製品安全分野で活動される皆様にも一読して頂きたいと思います。特にキーポイントとしての囲みに記述されているのは、著者の本音？でしょうか、何かビンビンと伝わるものがありました。2010 年の改定版ですからそろそろ第二次改訂版の用意を期待して行きたいと思いますし、時間がある限り何度でも読み込んでいきたいと思います。



もう一冊、ご紹介したいと思います。きっかけは、コスモス創立の 1987 年の数年後の昭和 63 年 8 月に発行された“製品安全の考え方 安全を問われる製品責任”(ウイリー・ハーマー著、高橋恒彦監訳、小竹重信／杉渕斉訳 鹿島出版会)があります。この本を購入した頃には、自分なりに良書と思い、出版社に在庫全てを発注し、お客様の窓口の方や社内のスタッフに配布して読んで欲しいと言ったものです。私自身はその後も色々な機会にご紹介させていただきましたが絶版となり、その関係で私も次第に忘れていました。最近社内にて外部の製品安全業界で活躍されている方の社内セミナーを受けた時に、スタッフの一人がセミナー受講時に持参してきており、それが講師の方の目に留まり、「社長、君のスタッフの中には勉強熱心で素晴らしい本を読んでいるのがいますね」と、お褒めの言葉をいただきました。内心、実はと経緯を話したかったのですが、その場はこらえました。



この本の良いところは、付録 A として製品の危険・有害特性の解説が危険の形の説明として懇切丁寧に記述されおり、また付録 B で設計後の危険・有害性のチェックリストが紹介されています。現在のリスクチェックリストの原型ではと私は考えています。最近製品規格には規格のテキスト通りの製品であっても許容できるレベルにリスクが低減されていることが求められるようになってきています。

そういう流れの中で、原点に帰る意味でも、発刊は随分昔の物になりますが、一読される値打ちは十分にあると思いますし、これからリスク分析を業務にされる方がおられましたら入門書としては最高と思います。ただ残念なのは絶版となってしまうので、古本屋などで探すしかない点です。

改訂版の発刊を強く希望して今月は終えたいと思います。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2017-05-01 (No. 86)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2017 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。